

NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.27

☐ 岡村の最近の注目ニュース ☐ ビジネス予備校近況リポート ☐ B-EAT 会活動報告 ☐ What's up?

2023 年 05 月

2023/05

いつ始めても
遅すぎることはない。

新年度、EAT 生の皆さんは どんな心持ちで頑張っているだろうか？

目の前の業務に忙殺されながら、この仕事が 10 年後も 20 年後も存在するのだろうか？
と不安に感じる人もいるはず。その問題意識は素晴らしい！

時代の変化に関わらず、普遍的に役立つ能力は何だろうか？

構造変革の時代、多くの仕事はなくなるか、別の業務に分解・転換されていくことだろう。

特定商品の営業や開発、〇〇事務など、狭い範囲の“業務”に自分の可能性を縛り付けてしまうのは危険だ。昨今、“ジョブ型雇用”の流行に惑わされて、いたずらに業務範囲を狭め、視点を低めてしまっている若手・中堅がいるから心配だ。

EAT で何度か自己の客観視を試みたことを思い出してほしい。偶には隙間時間を作って、自分の強みを“棚卸し”しよう。肝は、自分の“能力”を切り口にすること。例えば営業人財は、取引先の実情を把握する力、環境変化を予測する力、商品優位性を見極め活用する力、人を動かす力等々、様々な能力を備えている。

自身の強みを、複数の能力に分解して認識する人財は、部門や職務の盛衰に翻弄されず、自身の持てる能力を組み合わせ、時には補足しながら、10 年後も 20 年後も必要とされる仕事を遂行していくことだろう。

それでは、時代の変化に関わらず、普遍的に役立つ能力は何だろうか？

先日、政府が、「資産運用業等を抜本的に改革することが重要だ」と言及し、「運用能力を強化するよう金融庁に指示した」とする記事が掲載された。“資産運用は、業界人に限らず、すべてのビジネスパーソンにとって普遍的価値を持つ能力”が私の信条ゆえ、こうして運用を考える機会が増えるのは好ましい。

今回は業界の抱える以下 2 つの課題に絡めて、個々人が資産運用能力を高める普遍的な価値につき記したい。

・世界的に新たな運用の目的や手法を模索中である

株や債券が今の形になって約 400 年、分散投資が始まってからまだ 50 年程度。リーマンショックで信頼を損なった運用業界が、やっと SDGs 概念に存在意義を見つけ運用哲学の再構築に着手したところだから、いま生まれる商品は玉石混交になって当然だ。自身の年金資産の投資家である皆さんは、運用商品の選別に際し“自らの頭で考え、判断する”ことが必然的に求められる。

・母国株式市場が長期にわたり低迷してきた

前述の記事には“資産倍増”が謳われているが、倍増する可能性は半減するリスクと表裏一体。リスクとリターンのバランス認識こそが運用の肝。為替リスクを負う投資への過重配分は、安定性を大事にする年金運用には本来難易度が高い。長らく低迷してきた日本企業が二極化し、浮上する銘柄も顕在化してきた。“企業や経済を見極める目を養えば母国の成長を享受できる”。

皆さんに資産運用能力強化を奨励し、応援を続けてきたのは、マネジメントに不可欠の“世界観”を構築し、“マネーフロー（お金の流れ）”を読み取る能力を高めてほしいからだ。マネーフローから世界の勢力図が見え、環境予測力が高まれば、仕事力は自ずと強化される。具体的にはどうすればよいのか？ EAT で取組んだ“好きな銘柄や投信を複数選んで模擬運用する”を、是非、再開してほしい。世界観が更新されていくことだろう。

ご多忙のなか今回ご寄稿くださった宮原氏は、常にご自身の言葉で本質をご教示くださる方だ。べき論を外さず原理原則にこだわる姿勢にいつも刺激と勇気を頂いている。

注) この隔月ニュースの内容をさらに充実させ、発信していきたいです。メールアドレス等の変更は総務企画までお知らせください！

(EAT 代表 岡村 進)

自ら考える楽しさ

株式会社 JPX 総研
代表取締役社長
株式会社日本取引所グループ
執行役
宮原 幸一郎 氏



インターネットが社会に登場して30年余が経過し、スマートフォンなどの普及など、今では生活やビジネスに欠かせない社会インフラとなっている。私自身も何か調べる際は機械的にインターネット上の検索機能を活用し、ウィキペディアを開くことが日常化している。

私の子供時代には多くの家庭で見られた百科事典も、今やほとんど見かけることはない。しかし、インターネットはその利便性ばかりでなく、悪用されることによりフェイクニュース・犯罪等を生む危険性も孕んでいる。そして、今世間を騒がせているのが生成AIである。新聞等のメ

ディアで目にしない日はない。その活用とリスク、倫理性等について各国の政府、各企業で様々な議論が行われており、先頃開催されたG7デジタル相会合においても議題とされたのは記憶に新しい。

代表的な生成AIであるChatGPTの卓越した性能は、米国における司法試験や医師免許試験といった各種難関試験で高いパフォーマンスを発揮した、という報道からも証明されている。しかし、人間が作るものである以上ベイスは既存の情報に依存しており、ロシアによるウクライナ侵攻・コロナウィルスの発生等、想定外と言われる事象が続くVUCA (Volatility・Uncertainty・Complexity・Ambiguity) の時代にAIの進化が充分追いついていけるのか、定かではない。

こうした時代を生き抜くためには、日頃から、適切な情報を収集し、学び、自分の意見を持ち、判断する、一人ひとりが自ら考える力を高めていくことが大切ではないだろうか。

「もしお弁当を忘れてしまったら、あなたはどうしますか？」という先生の質問に、「家に電話を掛け、持ってきてもらおう」「友達のお弁当を少しずつ分けてもらおう」「今日は食べないで我慢する」「先生にお金を借りてランチを買おう」など様々な回答が飛び出し、先生は「みんな正解です」と言ったそう。

次男も、クラスメートの答えが意外なものであったり、あるいはなるほどと感心して面白かったから家族との話題にしたと思われる。今回同じ質問を試したところ「学校でお弁当を提供している場合がありますので、先生に相談してみることをおすすめします」という回答が返ってきた。

「考えることの大切さ」とは、何より、自ら考える楽しさ、皆で多様な考えや意見を共有する面白さ、自分の考えに基づいて行動する喜びにあることをあらためて思う。人間の尊厳を失わずに生きていくために、そうした視点が今後ますます必要になって来るのではないだろうか。

B-EAT ビジネス予備校のOB/OGによる地域を超えた繋がり

本年度の各クラス代表幹事による幹事就任および所信表明



B-EAT 東京 代表幹事

池野 洋平 さん

EAT ビジネス予備校 東京クラス8期生

EAT 卒業からひと月経過。大型連休を迎え「学ぶ」にはやはり強制的な環境が必要だなと苦笑と共にあの隔週土曜午後の熱く濃い時間を懐かしく想い出している。隔月で海外出張していたコロナ前の日々が再開しそうで、つくづく良いタイミングで EAT に飛び込んだと思うと同時に代表幹事という重責を全うできるか不安もある。早く意義深い行事を催し、岡村さん先輩方そして同期生との再会をリアル握手で実現させたい。やっぱり対面だよな、と思うことが増えてきた日々。皆さんはどう感じていますか？



B-EAT 福岡 代表幹事

黒田 伸文 さん

EAT ビジネス予備校 福岡クラス6期生

福岡6期生の幹事を仰せつかりました。EAT 及び B-EAT にとって少しでもお役に立てる様に努めてまいります。予備校では、無から有を生み出す気概ある講師陣に圧倒される1年でした。チャレンジ精神やリーダーシップ、本質を見抜く力など底流にある共通している部分が見えたことは大きな収穫でした。予備校を卒業し、今後は自分自身で考え自分で判断する力を磨いていこうと思っています。皆様とともに成長していきたいと思っています。引き続きよろしく申し上げます。